

式 辞

月隈山や校庭の桜の花びらが春風に舞い、木々の緑の美しい良い季節が巡ってまいりました。

まさに春爛漫の今日の佳き日に、新たに百六十名の新入生を迎え、平成二十六年度の入学式を挙げていただけますことは、この上もない喜びとするところであります。

ご列席の保護者の皆さま、本日はお子様のご入学心からお喜び申し上げます。

また、大分県議会議員井上伸史様をはじめ多くのご来賓の方々には、お忙しい中、本校入学式にご臨席賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

ただいま本校に入学を許可しました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心からお祝いするとともに歓迎いたします。

本校は明治三十四年に創立され、本年百十三年目となる歴史と伝統のある学校です。これまでの卒業生は約二万三千名であり、地元はもとより全国各地ですばらしい実績を上げて活躍しています。

在校生も「敬愛・勤勉・創造」の校訓のもと、林業科と工業科の専門学科をもつ県下有数の専門高校として、勉学はもとよりスポーツ・文化活動や奉仕活動に励んでおり、校訓に基づいたよい伝統を継承し、地域からも高い評価を受けています。

さて、日田林工高校は実社会に最も近い高校とされています。林業科では日田市の基幹産業である林業生産から加工に至るまでの技術、すなわち森林と環境を科学する学習に取り組めます。機械科と電気科は工業立国日本の基幹産業である製造業などの高い技術を支える学習をします。建築土木科は2年次からのコース分けがありますが、建築は快適な住宅などの生活環境を創造することを学び、土木は道路や橋及び上下水道などの社会基盤を整備して安心安全な環境を創造することを学びます。

いずれも、私達の生活になくってはならない産業の基盤を支える基礎を学び、将来の職業人として活躍していけるように、普通教科の他、専門教科では多くの実習などを取り入れています。「将来のスペシャリスト」「将来の日本や地域産業を担う人材の育成」「人間性豊かな職業人の育成」に取り組んでおり、本校の校訓である「**創造**」の精神はこれらの学科の学習に大切なものとなっています。

学習をしていく中で、いろいろと困難なことがあるかもしれませんが、自分一人ではできないことも、仲間と協力することで夢を実現することができます。学校は仲間と協力して生活し、学べる場所です。ときには考え方がぶつかってうまくいかないこともあるでしょう。しかしみんなの気持ちが一つになれば困難も乗り越えることができるはずです。同じクラスや部活動などで毎日一緒に生活できることは実は大変すばらしいことです。特に本校の校訓である「**敬愛**」の精神で相手をいたわりながら、助け合いながらこれから一緒に生活できることに感謝して、みんなで大きく夢を広げていってください。

次に、本校のよい伝統は、「気持ちのいい挨拶」「自らが進んで行う清掃活動」「無遅

刻・無欠席」です。これらの点は県下の高校ではトップクラスだと思います。また、体育部や文化部及び専門学科のクラブ等のいずれかに入部して自己を磨いてください。このようなよい伝統を受け継ぐ中で自己を高め、自分の人生を切り開くと同時に人間力を高めてほしいと思います。

特に本校の目標として掲げているのは「1. 1」の精神という言葉です。これは当たり前の努力にさらにもう少しプラスするという意味です。何事にも意欲的に取り組む積極果敢な高校生活のなかで成長は一層増すものと考えます。

さて、皆さんは本校でどのような夢を持って入学したのでしょうか。本校卒業後に就職しようと考えている人も多いと思います、就職試験の面接では「人柄」と「今後の可能性」を見極めていきます。そして、面接で「高校生活で一番頑張ったことは何か？」と聞くことが多いのですが、決して経験の種類や内容を詳しく聞きたいのではなく、「その経験を通じて何を得たかのか」「なぜその経験に挑戦したのか」を知ることで人柄をつかみ、入社後に**勤勉**に活躍する姿、つまり可能性を読み取ろうとしているのです。このようなことから、高校生活は自分の可能性を考えているんなことに挑戦してください。切り拓くべきことは未来です。多くの皆さんは高校生活に不安を持っているかもしれませんが失敗を恐れず1. 1の精神で果敢に挑戦して、そこで大切な何かをしっかりと学んでください。

「初心忘れるべからず」という言葉がありますが、今、皆さん一人ひとりの胸に秘めた意欲と決意を三年間持続させ、希望を達成することを心から念願しています。

最後になりますが、ご列席の保護者の皆さま、本日より、大切に育ててこられましたお子様をお預かりすることになりました。教職員一同、質の高い学習指導や厳しくとも暖かい生徒への指導等に全力を挙げ、教育的付加価値を十分に付け、変化の激しい時代にもたくましく生き抜いていける人間に育てていくよう取りくんで参ります。しかし、生徒の成長は学校教育のみで図れるものではありません。学校教育を充実するためには保護者の皆様のご理解とご協力がなくては成立しません。今までの義務教育とは少し異なる部分もありますが、本校の教育方針やシステムを十分にご理解のうえ、積極的なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます

新入生のみなさんが本校三年間の生活で自らを磨き、将来の夢に向かって力強く前進することを期待し式辞といたします。

平成26年4月9日

大分県立日田林工高等学校 校長 生田 茂